

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について《速報版》

◎6年生が、4月に受検した「全国学力・学習状況調査」の内、速報につき、学力調査の結果をまずお知らせします。

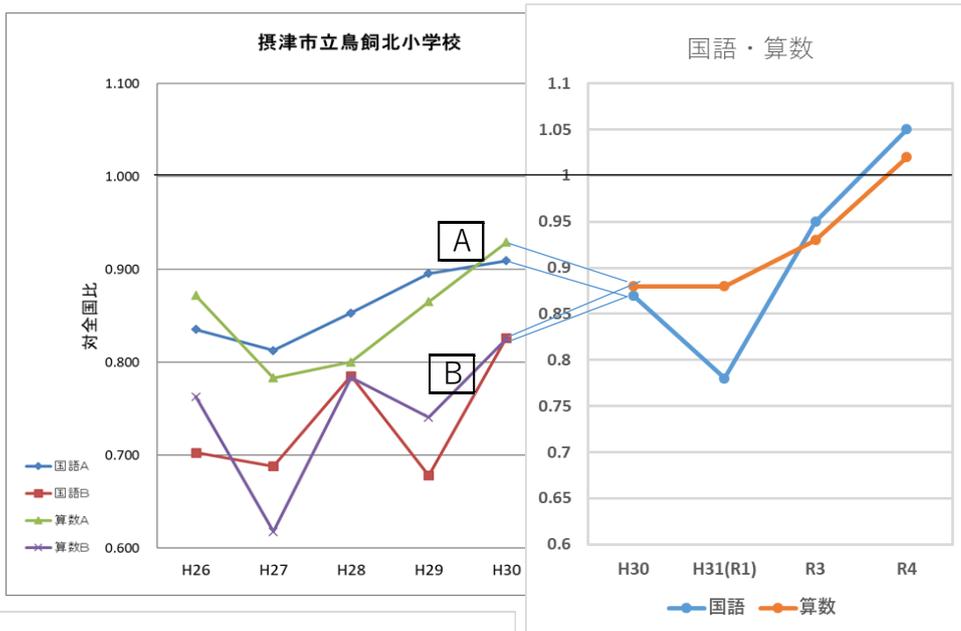
	国語		算数		理科	
	正答数	正答率	正答数	正答率	正答数	正答率
北小6年	9.6/14 問中	68.6%	10.3/16 問中	64.4%	11.1/17 問中	65.3%
大阪府	9.0/14 問中	64.3%	10.0/16 問中	62.5%	10.3/17 問中	60.6%
全国	9.2/14 問中	65.6%	10.1/16 問中	63.2%	10.8/17 問中	63.3%
対全国比	1.05		1.02		1.03	

◎経年変化を折れ線グラフで表しています。

\* 全国平均を「1」としての対全国比を表しています。 \* 「理科」は基本3年に一度行われます。

\* H30年以前は、国語、算数とも、基本的なA問題と活用力を見るB問題に分かれていたので、2種のグラフを貼り付けています。便宜上、右のグラフのH30年度は、A問題とB問題の平均値でグラフを作成しています。

\* R2年度(現中2)は新型コロナウイルスにより中止されました。全国平均目指して準備していたので、とても残念でした。



\*これまでお伝えしているように、全国学力調査は、12月に実施される摂津市学力定着度調査と違って、シンプルな基本問題がほとんど、非常に情報量の多い文章や図表・グラフ等の資料から活用力や表現力を問う問題が出されます。例えば算数に単純な計算式の問題は一つもありません。

したがって、定着度調査でここ数年、着々と成果を見せて来た北小の児童においても、この全国調査にはなかなか太刀打ちできないのが大きな課題でした。

そういう意味でも今年の6年生の健闘は素晴らしい！

4月の実施です。ここに至るまでの努力の積み重ねの結晶ですね。

\*これもいつも申し上げますが、これはあくまで「平均点」ですので、個人の課題は別途探る必要があります。しかし、平均点は団体戦です。個人的に平均点に及ばずとも、全員が、今の自分の持てる力をしっかり出したことの総合力が、この結果を生んでいます。今後も引き続き、『明日の自分が今日の自分を超越していることを信じて』、前向きに日々の生活の充実を図って欲しいと思います。

\*鳥飼北小学校では、今後も引き続き、前向きな学習集団の育成、安心安全で人権に配慮した集団づくり、一人ひとりの課題に向き合った生活指導と特別支援教育、自主自立を目指した魅力ある学校づくり、面白くて効果的な授業づくり研究等、『一人ひとりがいきいきと輝く学校』を目指して歩んでまいります。

効果的な授業づくり研究等、『一人ひとりがいきいきと輝く学校』を目指して歩んでまいります。

\*グラフのカラー版をホームページに掲載しています。「学習状況調査」(アンケート)の結果を含む結果分析の「詳細版」は、全教職員で協議しながら、11月ごろお伝えいたします。

